2010年3月期 決算説明会

2010年5月25日

日本ロジテム

証券コード: 9060

URL:http://www.logitem.co.jp

本日の内容

1. 2010年3月期決算の実績

2. 2011年3月期の見通し

3. 今後の取組み

1. 2010年3月期決算の実績

2. 2011年3月期の見通し

3. 今後の取組み

2010年3月期決算のポイント（連結）

営業収益は前期比7.1%減、経常利益は同38.1%減

1. 国内はインテリア・エレクトロニクス関連の取扱量減などにより、全ての事業で前年割れ
2. 海外ビジネスは、円高により目減り
3. 取引先の破産手続開始申立てに伴い貸倒引当金繰入額（122百万円）を特別損失に計上した結果、59百万円の当期純損失

3PL事業の営業活動の強化、ネット通販物流の業容拡大

1. 営業企画課の新設およびネット通販物流プロジェクトチームの設置
2. 取引先のコスト削減ニーズを捉え、当社オリジナルの物流サービスを開始
3. ウェブを活用した物流コンサルティング・サービスを開始

ベトナムにおけるビジネスが拡大、積極的な設備投資を継続

1. サービスの高品質化を図るため、物流システム（在庫管理、車両管理）を新規に導入
2. 東西回廊における定期トラック輸送が順調に推移

2010年3月期決算の概要

コンフォートウィングの破産手続開始に伴い特別損失が増加

	10/3期		09/3期
	実績	前期比（%）	実績
連結営業収益	34,799	△7.1	37,471
連結営業利益	428	△34.2	651
（同利益率）	1.2	−0.5P	1.7
連結経常利益	284	△38.1	459
（同利益率）	0.8	−0.4P	1.2
連結当期純利益	△59	−	232
（同利益率）	−0.2	−	0.6

注）利益率の増減は前期比ポイント

（単位：百万円、%）

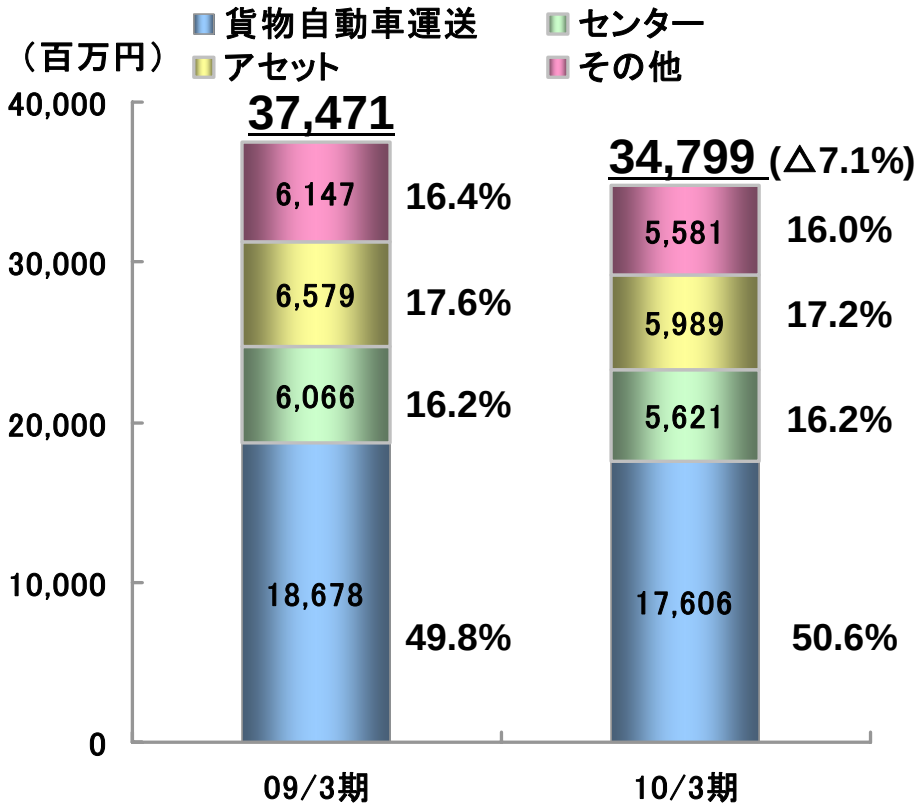
10/4/6公表	
コンフォートウィングの破産手続開始の申立をする旨の通知を受けたことに伴い、取立不能見込額を貸倒引当金繰入額として特別損失に計上	
特別損失	122

海外TTMレート	台湾（NTドル）	香港（HKドル）	タイ（バーツ）	ベトナム（USドル）	中国（中国元）	ラオス（USドル）
09/3期	3.27円	13.21円	3.12円	102.78円	14.84円	102.78円
10/3期	2.83円	12.09円	2.73円	93.69円	13.71円	93.69円

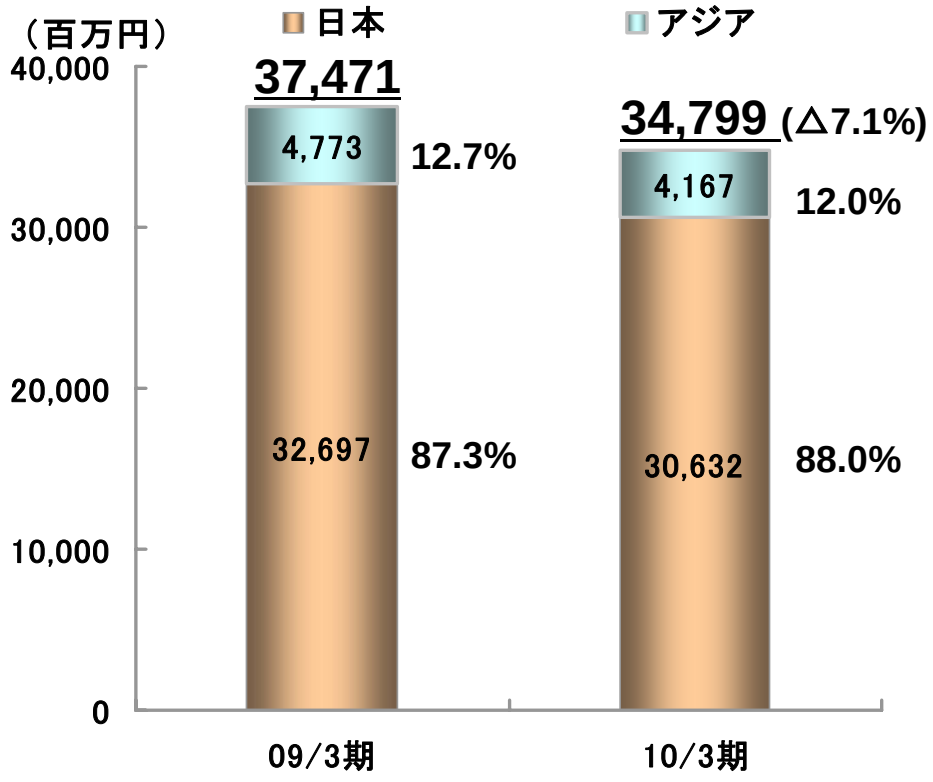
セグメント別連結営業収益

経済環境の悪化により営業収益が低下

事業の種類別

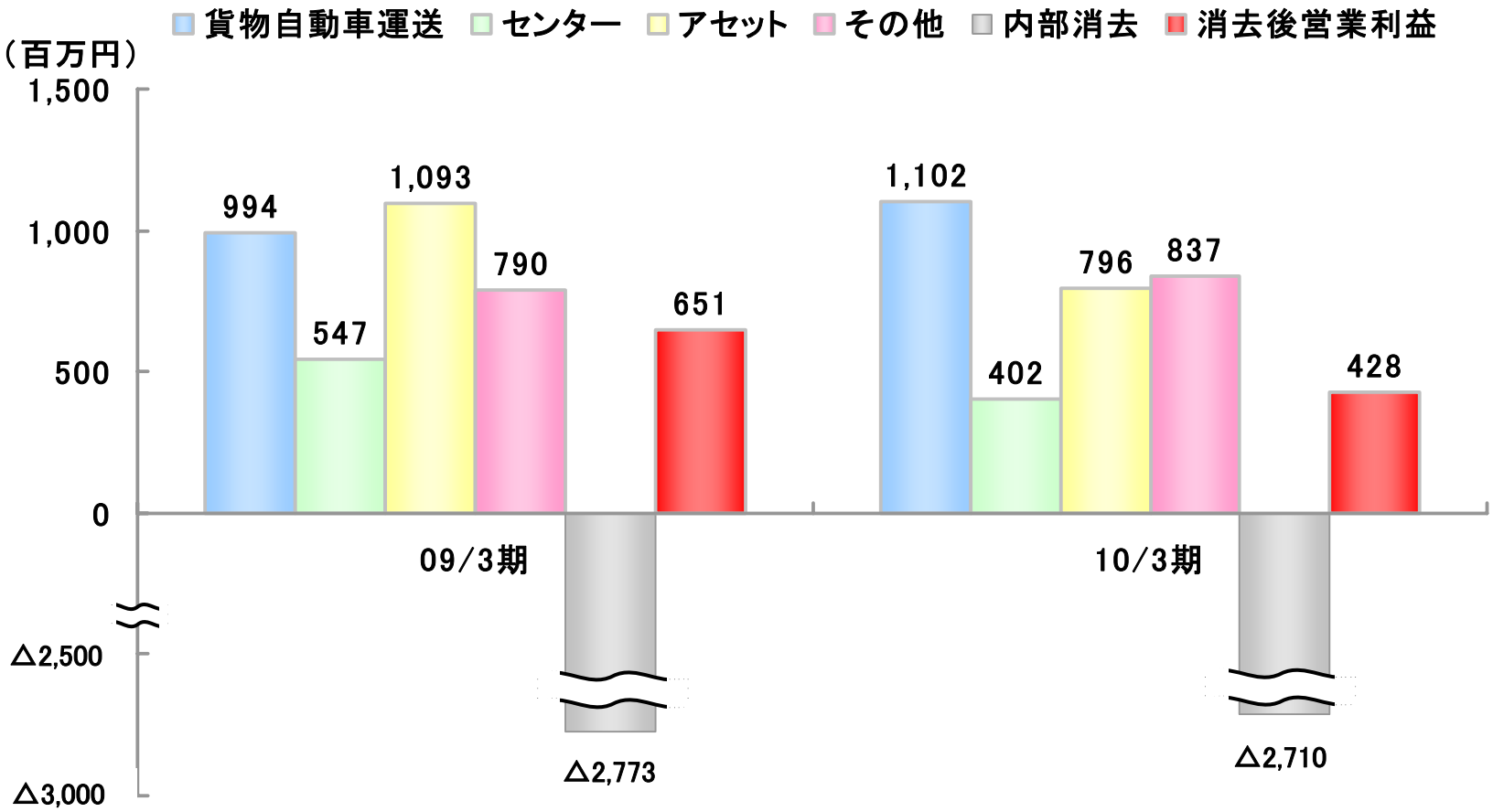


所在地別



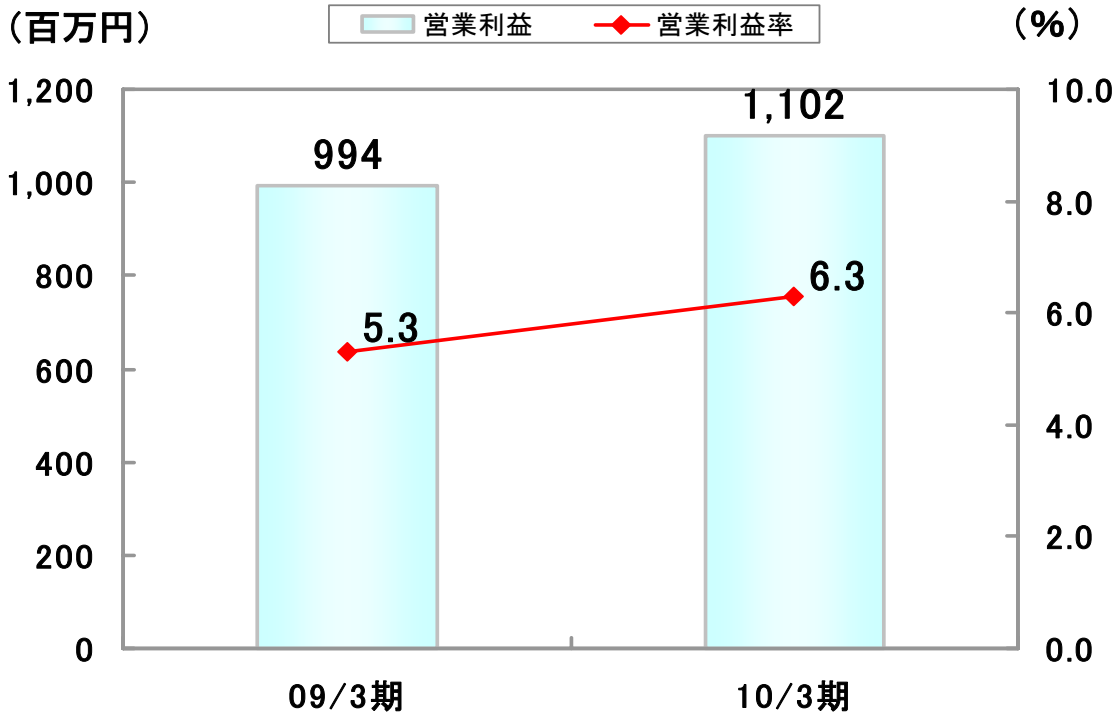
セグメント別連結営業利益

営業収益の低迷により営業利益も減益



貨物自動車運送事業

営業収益176億6百万円（前期比5.7%減）、営業利益11億2百万円（同10.9%増）



＋プラス要因

- 燃料単価の下落
- 角谷運送の子会社化
- 阪神ロジテム岡山営業所の新設

－マイナス要因

- インテリア・エレクトロニクス関連の取扱数量の大幅な減少

輸送能力（グループ全社）

	10/3期	前期比（%）
保有台数（台）	701	+7.0
積載トン数（t）	5,913	+7.4
輸送トン数（t）	1,790,158	+10.2

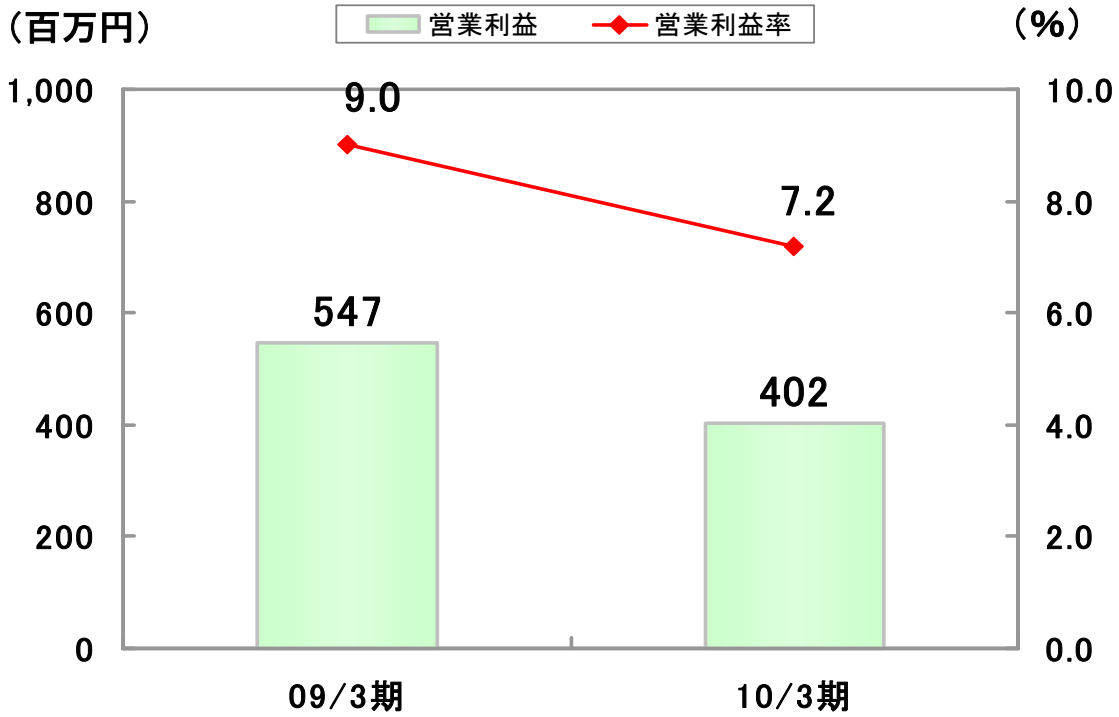
注）営業利益は消去前

センター事業

営業収益56億21百万円（前期比7.3%減）、営業利益4億2百万円（同26.3%減）

＋プラス要因

■ロジテムベトナム№2のセンター事業の拡大



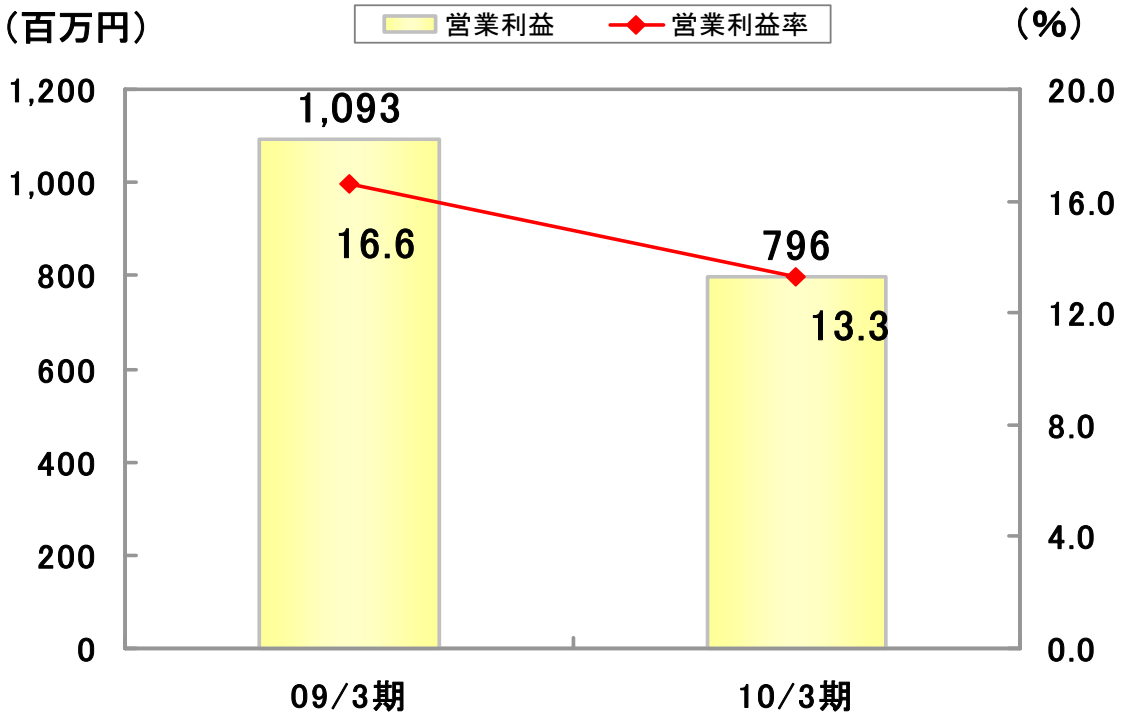
－マイナス要因

■日本ロジテムの工場内請負事業の作業単価の改定
■インテリア・エレクトロニクス関連の取扱数量の大幅な減少

注）営業利益は消去前

アセット事業

営業収益59億89百万円（前期比9.0%減）、営業利益7億96百万円（同27.2%減）



ーマイナス要因

■日本ロジテム、ロジテムインターナショナルの一部得意先の契約終了
（倉庫稼働率の低下）
■ロジテムベトナム№2の借用倉庫の返却

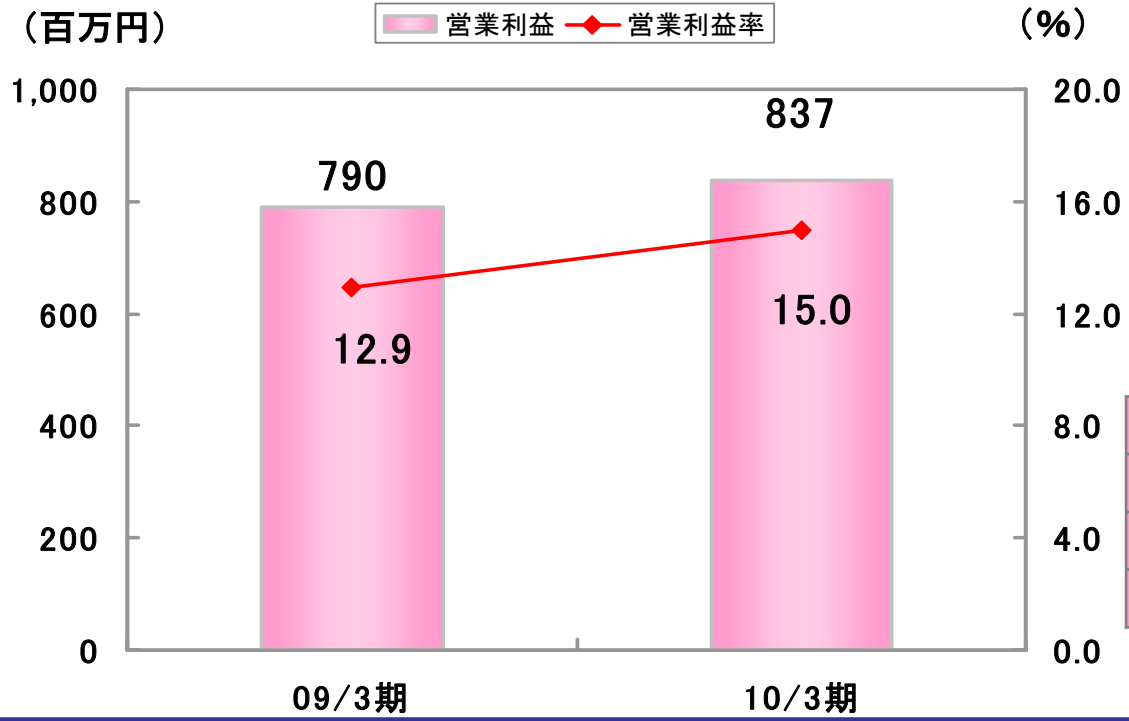
保管能力（グループ全社）

	10/3期	前期比（%）
倉庫棟数（棟） （うち、借用倉庫）	111 （80）	△10.5 （△15.8）
倉庫面積（㎡） （うち、借用倉庫）	521,387 （412,704）	△7.4 （△10.0）
倉庫稼働率（%）	94.4	△3.3P

注）営業利益は消去前

その他事業

営業収益55億81百万円（前期比9.2%減）、営業利益8億37百万円（同5.8%増）



＋プラス要因

■ロジテムエージェンシーの製造ライン請負事業の効率化
■燃料単価の下落（旅客運送）

－マイナス要因

■ロジテムインターナショナル、ロジテムタイランドの輸出入取扱件数の減少
■ロジテムエージェンシー、ロジテム台湾の物品販売の低迷

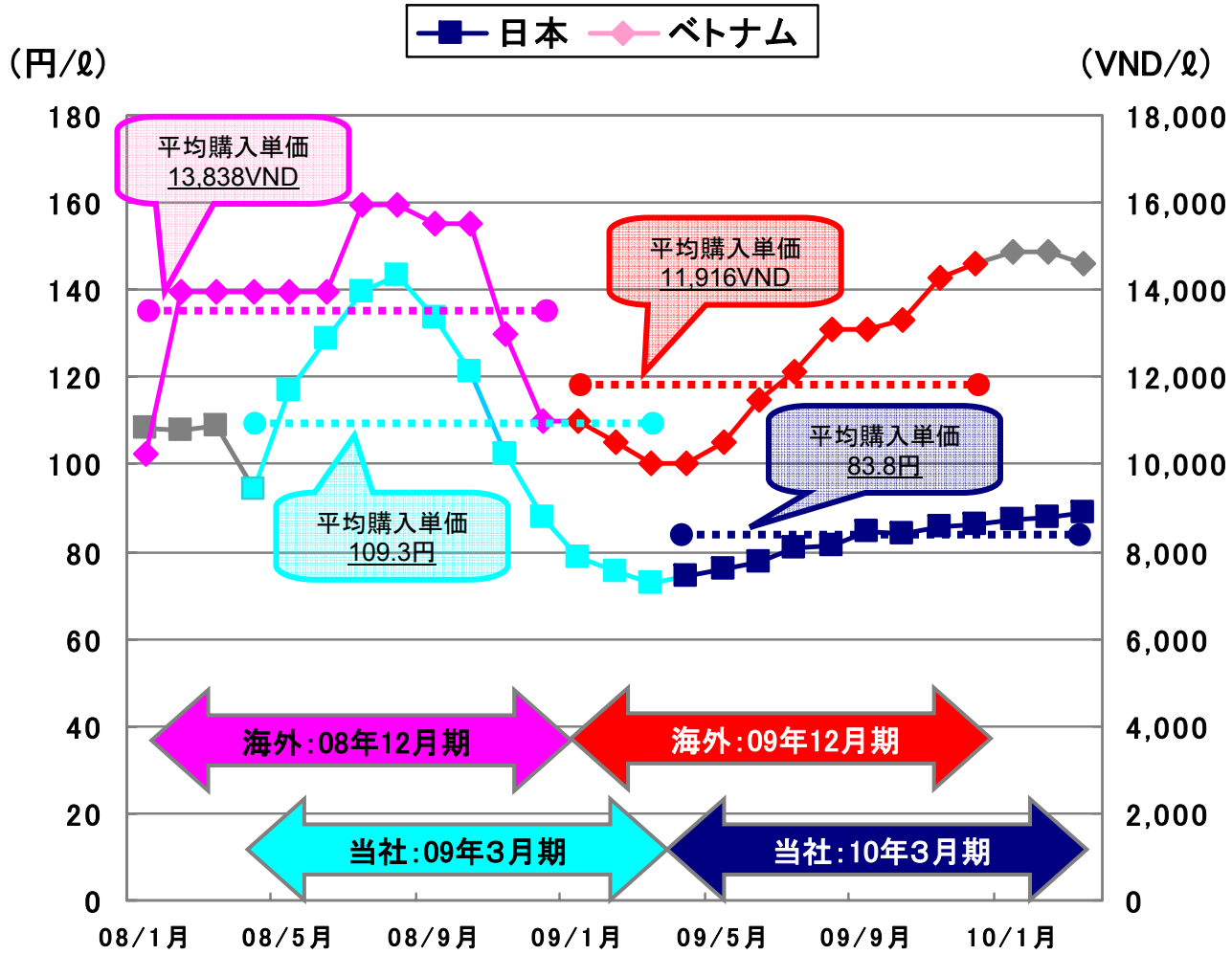
事業別売上高（百万円）

	10/3期	増減	前期比（%）
輸出入取扱	661	△237	△26.4
物品販売	391	△129	△33.0
旅客運送	889	△73	△7.7
施工	897	△52	△5.5

注）営業利益は消去前

外的要因による業績の影響①（軽油価格）

グループ全体の軽油使用量の6割強をベトナムが占める



	平　均　購　入　単　価	
	09/3 期	10/3期
ベトナム	13,838VND	11,916VND （前年同期比86.1%）
日　　本	109.3円	83.8円 （前年同期比76.7%）

グループ全体で
約190百万円の負担減
（うちベトナムで約75百万円）
※サーチャージ解消分を含まず

※VND=ベトナムドン

※軽油価格推移（日本、ローリー価格）
出所：全日本トラック協会

外的要因による業績の影響②（為替）

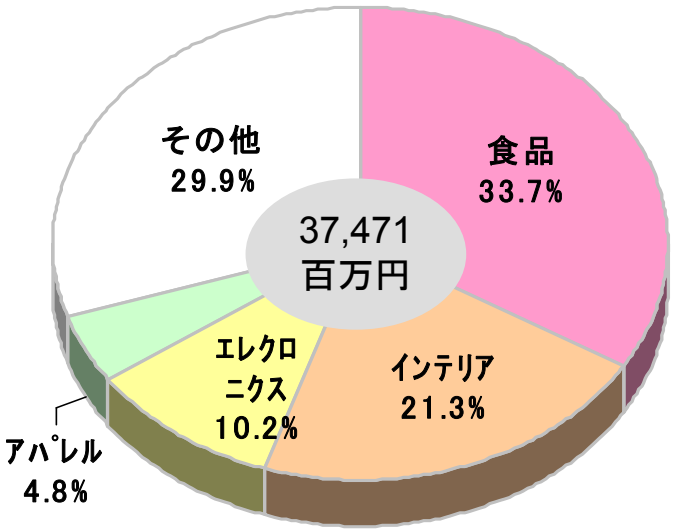
円高で営業収益、純利益ともに目減り

法人名	09/3期 レート	10/3期 レート	通貨 単位	対前年	営業収益影響額	純利益影響額
ロジテム台湾	3.27	2.83	NTドル	△13.5%	△28百万円	0百万円
ロジテム香港	13.21	12.09	HKドル	△8.5%	△24百万円	△1百万円
ロジテムタイランド	3.12	2.73	バーツ	△12.5%	△38百万円	1百万円
ロジテムベトナムホールディングス	102.78	93.69	USドル	△8.8%	△7百万円	△5百万円
ロジテムベトナム					△17百万円	△2百万円
ロジテムベトナム№1					△87百万円	△6百万円
ロジテムベトナム№2					△198百万円	△3百万円
L&K トレーディング					△17百万円	△0百万円
ロジテム上海物流	14.84	13.71	中国元	△7.6%	△2百万円	0百万円
ロジテム上海倉庫					△4百万円	0百万円
ロジテムラオス GLKP	102.78	93.69	USドル	△8.8%	△0百万円	0百万円
単純合算値（通期）	―	―	―	―	△428百万円	△18百万円

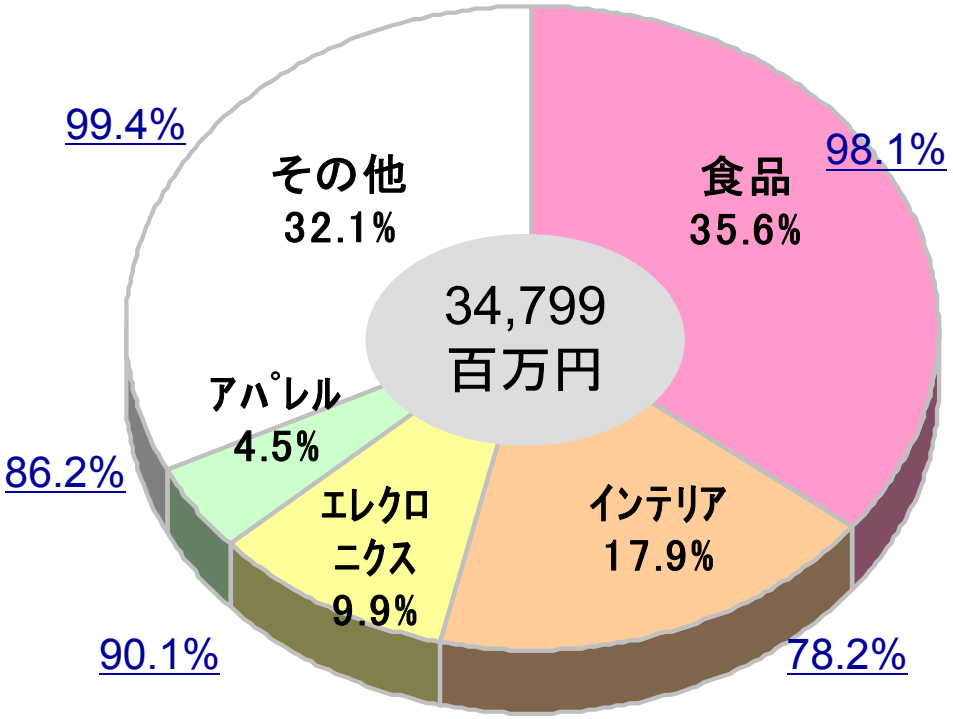
取扱い品目別情報

食品の取扱高は堅調に推移

＜2009年3月期＞



＜2010年3月期＞



※売上高構成比率と前期比（下線部）

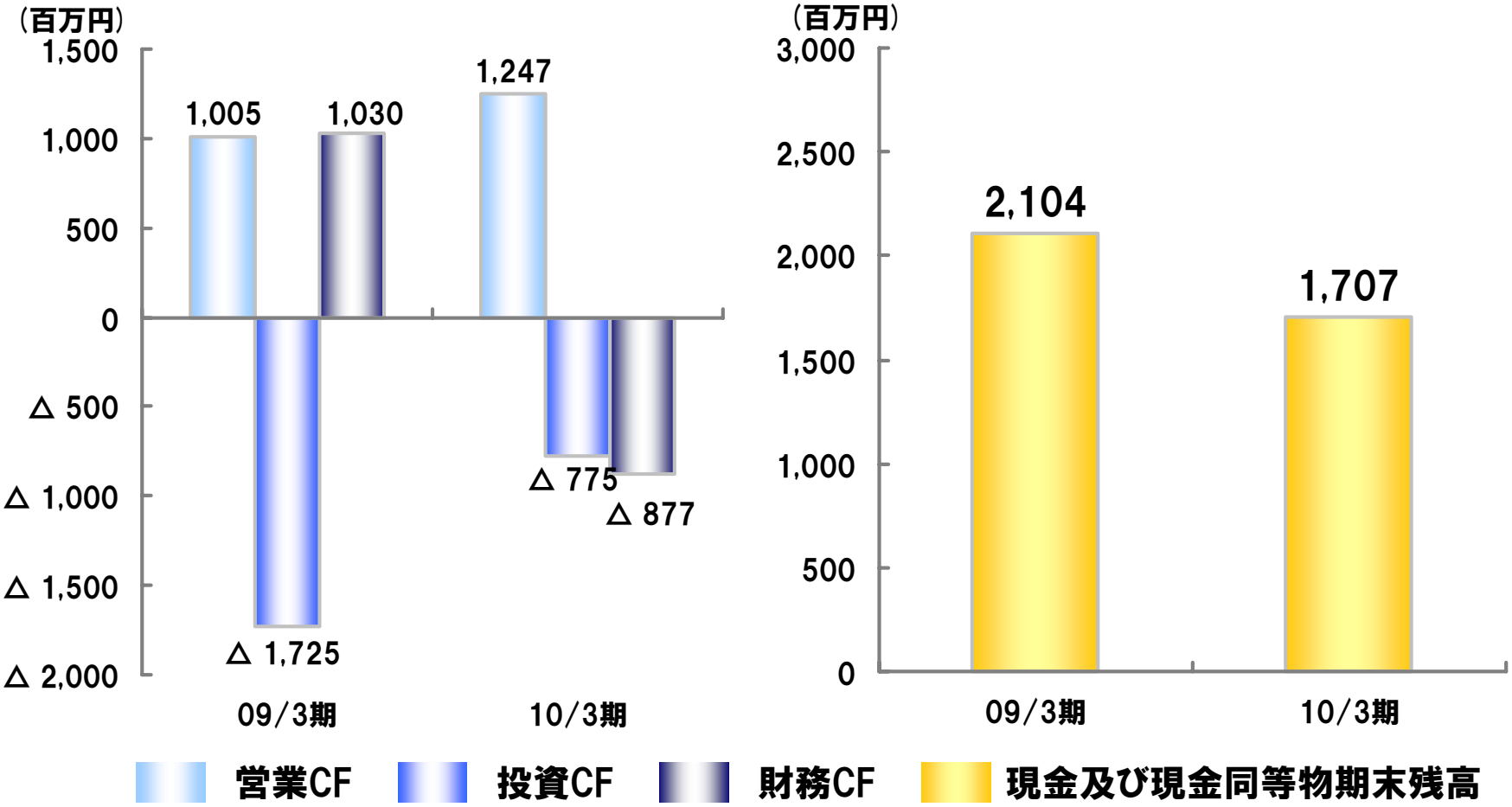
連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	09/3期	10/3期	増減額
【資産の部】			
流動資産	8,322	7,867	△455
固定資産	22,758	22,113	△645
資産の部合計	31,081	29,981	△1,099
【負債・純資産の部】			
流動負債	10,155	12,810	2,654
固定負債	10,287	6,797	△3,489
負債の部合計	20,443	19,607	△835
純資産の部合計	10,637	10,373	△263
負債・純資産合計	31,081	29,981	△1,099
（有利子負債）	13,929	13,274	△654

キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローの推移



1. 2010年3月期決算の実績

2. 2011年3月期の見通し

3. 今後の取組み

2011年3月期の見通し

注）利益率の増減は前期比ポイント　（単位：百万円、%）

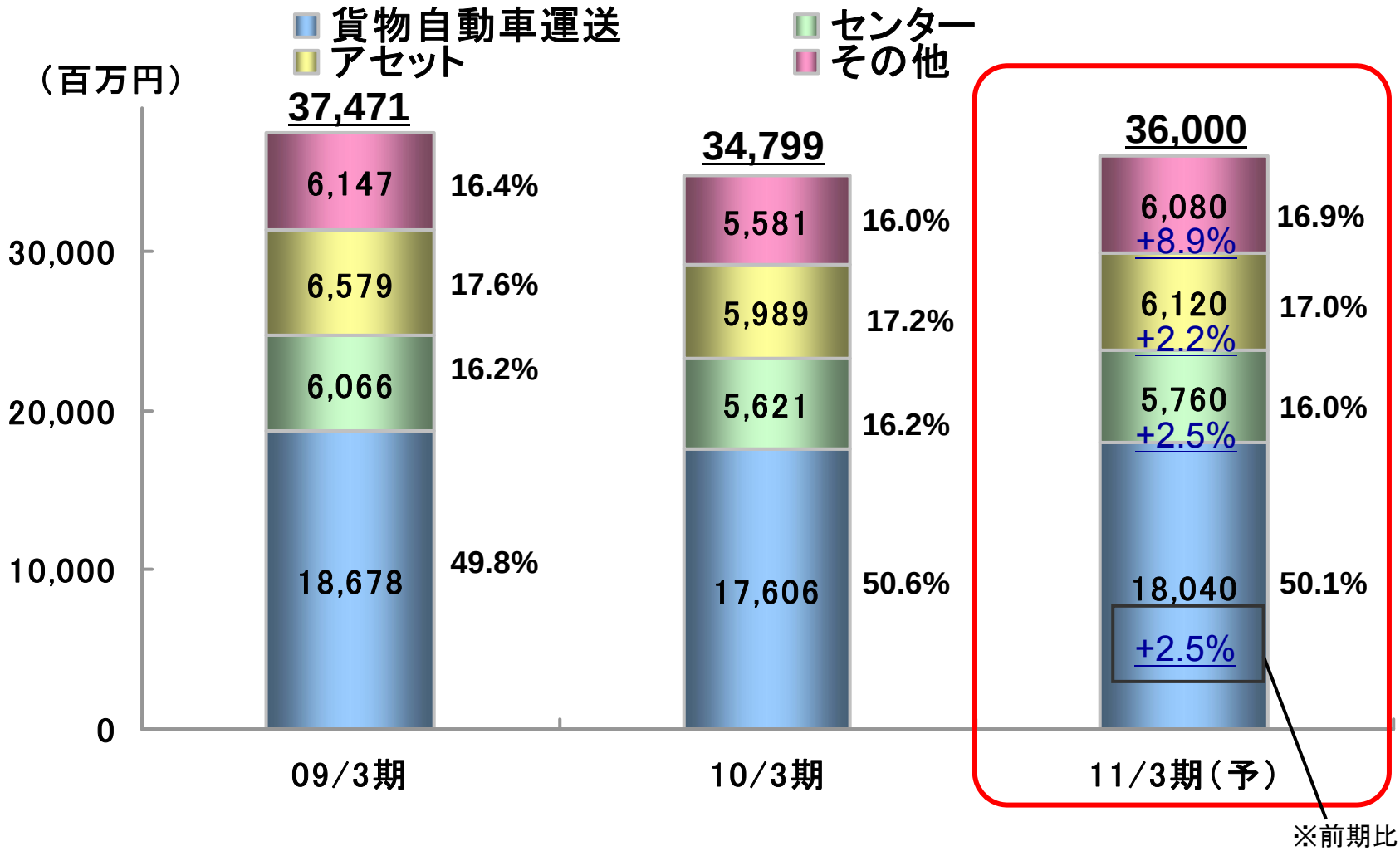
	11/3期（予）		10/3期	
	金額	前期比（%）	金額	前期比（%）
連結営業収益	36,000	3.4	34,799	△7.1
連結営業利益	880	105.4	428	△34.2
（同利益率）	2.4	+1.2P	1.2	−0.5P
連結経常利益	670	135.7	284	△38.1
（同利益率）	1.9	+1.1P	0.8	−0.4P
連結当期純利益	300	−	△59	−
（同利益率）	0.8	−	−0.2	−
連結EPS	21.92	−	△4.35	−
配当	8円		8円	

海外TTMレート	台湾（NTドル）	香港（HKドル）	タイ（バーツ）	ベトナム（VND）※	中国（中国元）	ラオス（USドル）
11/3期	2.80円	11.50円	2.70円	0.00455円 （1円=220VND）	13.10円	90.00円

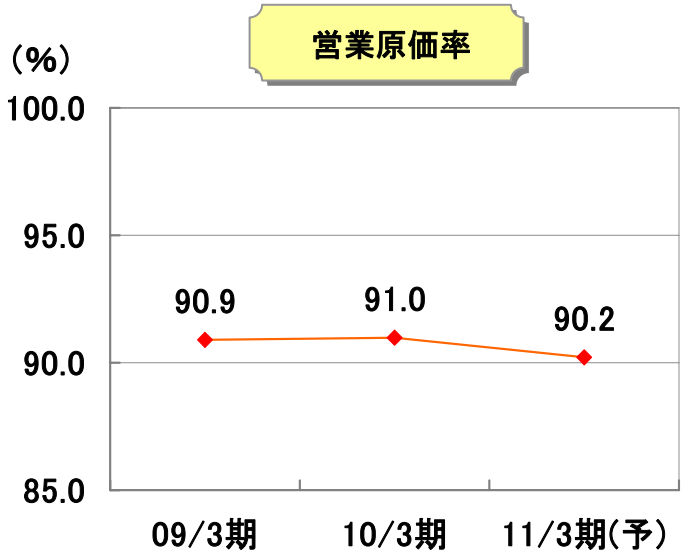
※2011年3月期からベトナム財務省の会計方針により、ベトナムの換算通貨をUSドル建てからVND（ベトナムドン）建てに変更しております。

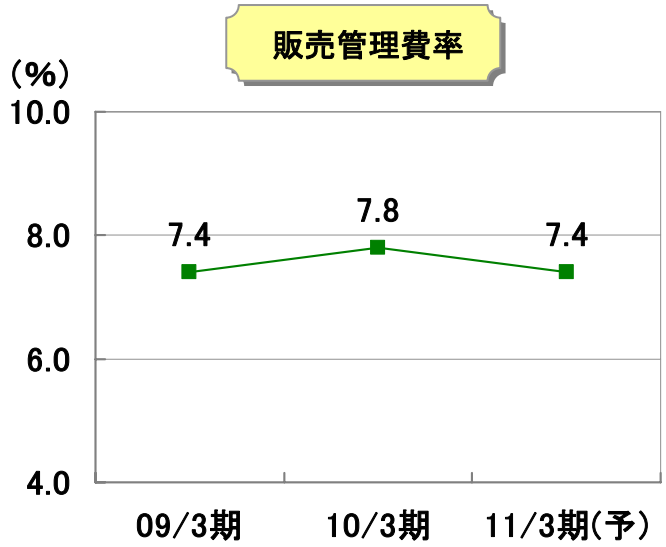
事業の種類別セグメント営業収益

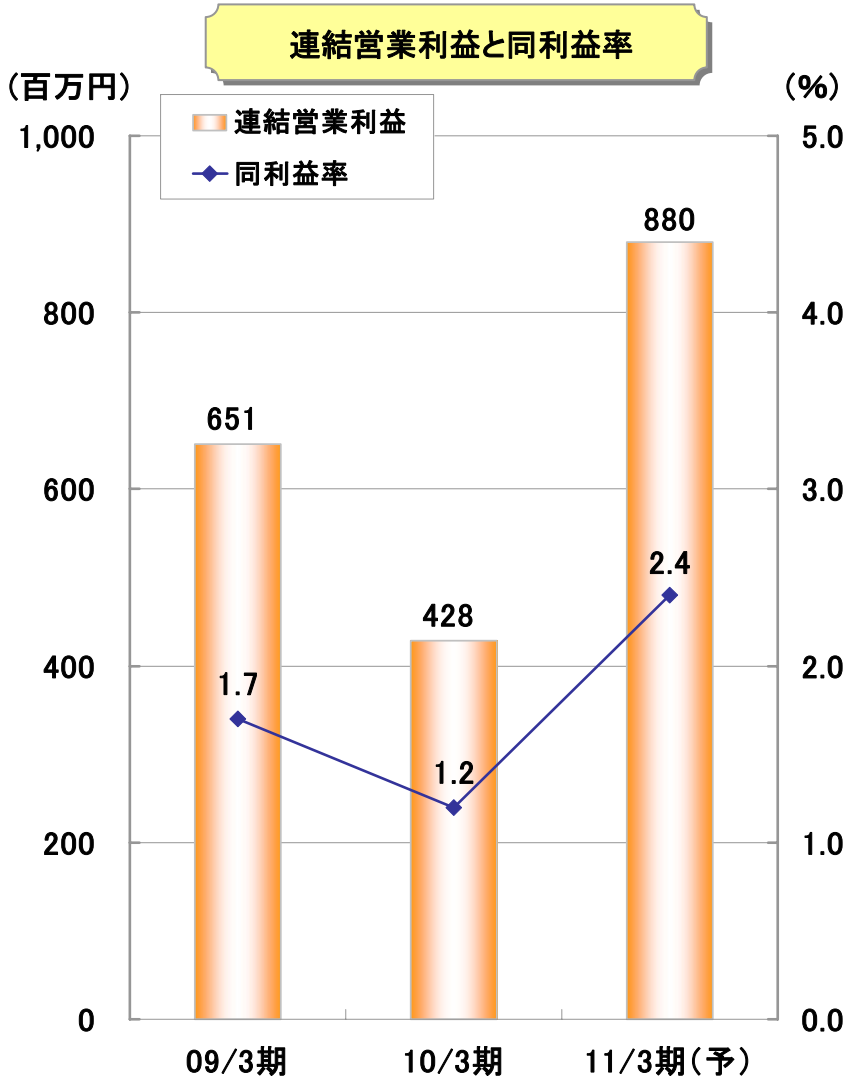
営業体制を強化し、全ての事業で前年を上回る見込み



営業利益の見通し


営業原価率
(%)
100.0
95.0
90.0
85.0
90.9
91.0
90.2
09/3期
10/3期
11/3期(予)


販売管理費率
(%)
10.0
8.0
6.0
4.0
7.4
7.8
7.4
09/3期
10/3期
11/3期(予)


連結営業利益と同利益率
(百万円)
(%)
連結営業利益
同利益率
1,000
800
600
400
200
0
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
651
428
880
1.7
1.2
2.4
09/3期
10/3期
11/3期(予)

1. 2010年3月期決算の実績

2. 2011年3月期の見通し

3. 今後の取組み

当社グループを取り巻く環境

外部環境

- 国内貨物の低迷
- 受託料金の低下
- 不安定な燃料価格および
  高速道路料金の動向
- 海外事業を圧迫する円高基調
- 環境問題（改正省エネ法等）の対応

2010年度 経営革新のキーワード

収益回復、企業価値の向上のため

改　革　**改　善**　**改　新**

既存業務をゼロベースで見直し、効率化をすすめる

より戦略的な営業展開のため組織を強化

国内物流事業

- **営業開発部門**の人員を**増強**（2010年1月～）
  → 新規得意先の獲得、既存得意先の受注範囲の拡大
- 提案営業の推進、3PL事業の業容拡大を図るため、昨年4月に新設した営業企画課を**営業戦略部**に昇格
- **品質管理本部**を新設
  → 品質・環境・安全への対応を強化

営業戦略部・品質管理本部
2010年6月28日新設予定

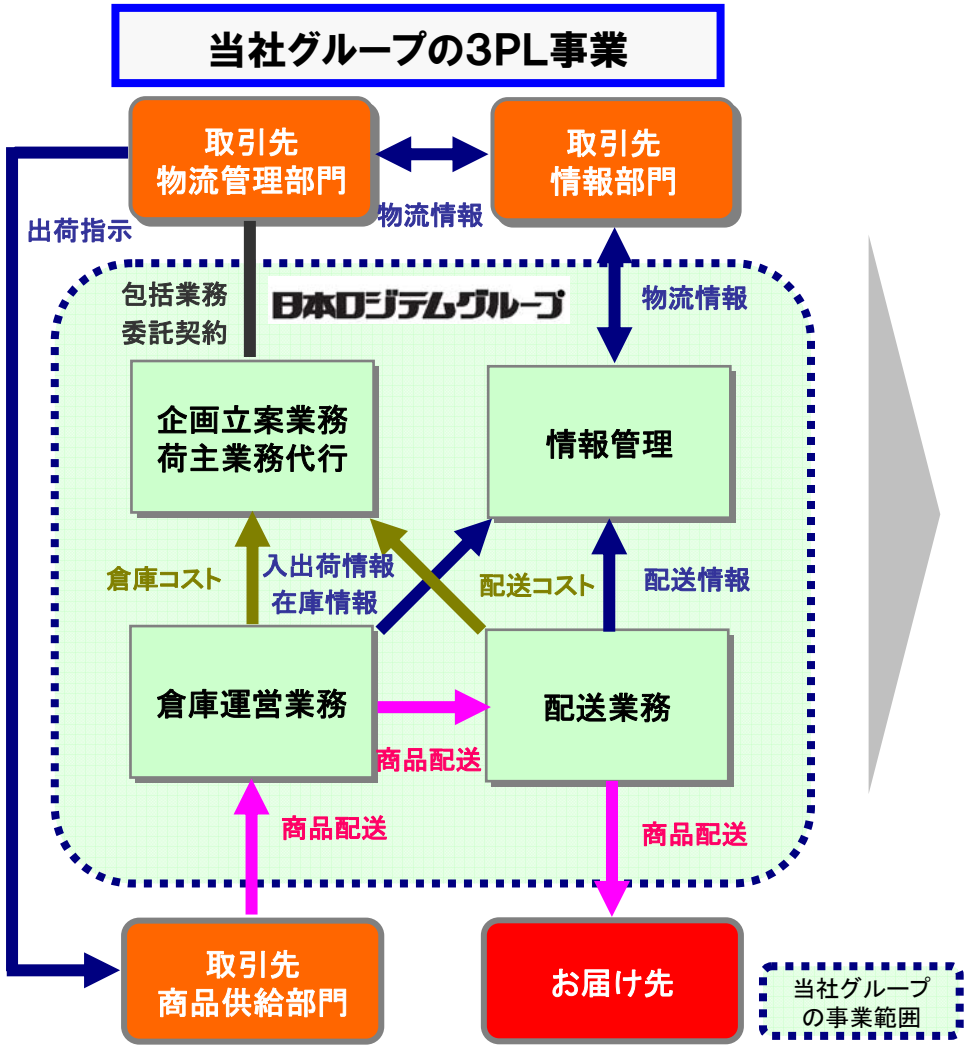
国際物流事業

- 日本ロジテムの国際本部内に**国際戦略部**を新設し、ハノイにスタッフを駐在
  → 中長期的な視野に立ったアジア地域における物流戦略の策定、推進
  → 機動的、効率的な業務運営の推進
- ホーチミン市で新倉庫竣工
  2010年1月、倉庫面積12,000㎡（約3,600坪）

国際戦略部
2010年4月1日新設

3PL事業の推進

得意先の状況に応じて全体最適な物流システムを提案



■ 営業開発部門の増強

■ ウェブマーケティングの活用

■ 当社オリジナルサービスの開発・提供

■ ネット通販物流の拡大

オリジナル物流サービス

新たな物流需要の開拓、コスト削減を提案するサービスメニュー

ゆっくり便

2009年11月開始

- 発送から2日以内の配達で通常運賃の20%割引
- 社内間、在庫補充型の荷物が最適

STAMPメール

2010年2月開始

- 受領印のサービスを付加したメール便
- 封筒サイズであれば書類以外の配達も可能

午後便

2010年5月開始

- 午後の集荷・配達で大幅に運賃を削減

Logi-ラベ

2010年5月導入

- 約30社の特別積合せ会社（旧路線会社）対応の共通荷札発行システム
- ASP対応により初期導入費用を大幅低減

巻末、「参考資料」に詳細資料を添付

EDISON、中部・関西地区で営業展開

共同配送のネットワークを強化

（百万円）

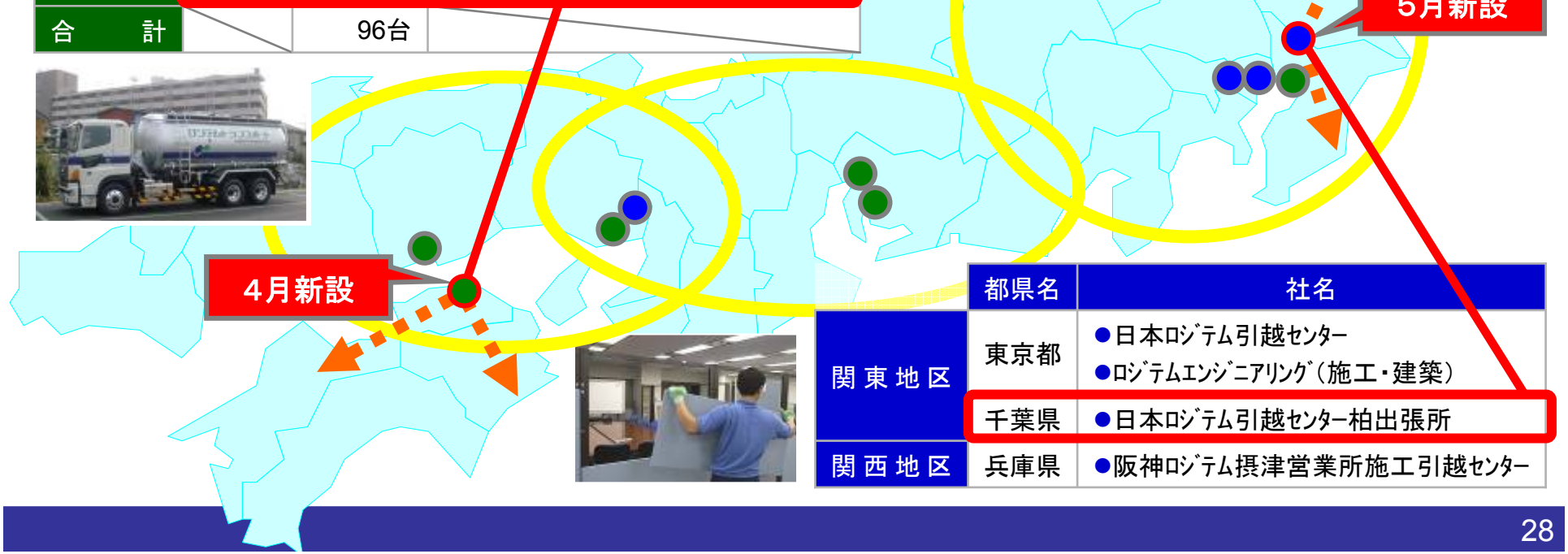
EDISON	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期
売上高推移	1,839	1,850	1,606	1,428

※EDISON（Electronics Delivery Include Slip Operation Network）
当社の電子部品共同配送システムの商品名

バルク運送事業、引越事業拠点拡大

営業拠点を拡大、高品質なサービスを提供

	県名	バルク用特殊車両	社名
関東地区	千葉県	54台	●ﾛｼﾞﾃﾑﾄﾗﾝｽﾎﾟｰﾄ本店
中部地区	愛知県	15台 5台	●日本ﾛｼﾞﾃﾑ名古屋営業所 ●角谷運送
関西地区	兵庫県	11台	●ﾛｼﾞﾃﾑﾄﾗﾝｽﾎﾟｰﾄ関西支店
中国地区	岡山県	6台	●阪神ﾛｼﾞﾃﾑ岡山営業所
四国地区	香川県	5台	●阪神ﾛｼﾞﾃﾑ岡山営業所坂出出張所
合　計		96台	



	都県名	社名
関東地区	東京都	●日本ﾛｼﾞﾃﾑ引越ｾﾝﾀｰ ●ﾛｼﾞﾃﾑｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ（施工・建築）
	千葉県	●日本ﾛｼﾞﾃﾑ引越ｾﾝﾀｰ柏出張所
関西地区	兵庫県	●阪神ﾛｼﾞﾃﾑ摂津営業所施工引越ｾﾝﾀｰ

アジア地域における戦略的競争力の向上

国際戦略部 （ベトナム駐在員事務所、常駐）

営業活動の指導・支援

市場調査

新規業務・プロジェクト支援

海外グループ会社

ロジテムベトナムホールディングス

経営指導

旅客自動車リース

トラックリース

GPSリース

人材派遣

オフィス賃貸

ロジテムベトナム
- 倉庫保管
- 国内貨物輸送

ロジテムベトナムNo.1
- 旅客自動車運送
- マンション賃貸

ロジテムベトナムNo.2
- 通関業
- 倉庫保管
- 国内貨物輸送

連携

- ロジテム台湾
- L&Kトレーディング
- ロジテム香港
- ロジテムタイランド
- ロジテム上海物流
- ロジテム上海倉庫
- ロジテムラオスGLKP
- ※C&Cバンコク

※C&Cバンコク：持分法適用会社

取引先の満足度アップ

東アジア地域における業容拡大

AFTA(アセアン自由貿易地域)輸入関税撤廃

2010年より原加盟6カ国の関税が完全撤廃へ

1993年AFTAスタート

原加盟6カ国

- タイ
- シンガポール
- マレーシア
- インドネシア
- フィリピン
- ブルネイ

2002年	2003年	2007年	2010年
0～5%へ 一部例外 認める	全品目を 0～5% 60%の 品目を 0%	全品目の 80%を 0%	全品目を 0%へ

原加盟6カ国
完全撤廃

新加盟4カ国

- ベトナム
- ラオス
- ミャンマー
- カンボジア

ベトナム	2006年	0～5%へ
ラオス、ミャンマー	2008年	0～5%へ
カンボジア	2010年	0～5%へ

2015年

全品目を0%へ
一部例外品は2018年まで

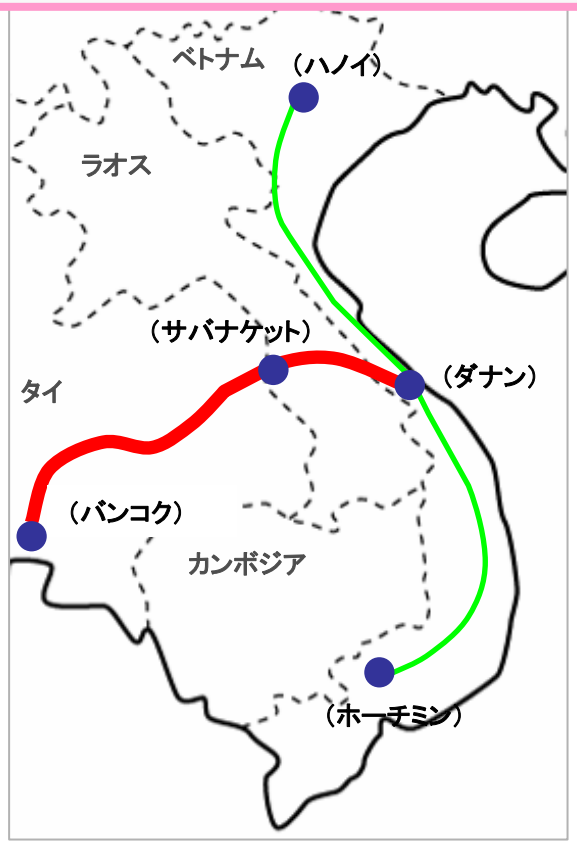
※赤枠は現地法人を設置している国

出所：ジェトロ海外調査部

インドシナ半島における陸上輸送網の本格展開

東西回廊で定期トラック輸送を開始

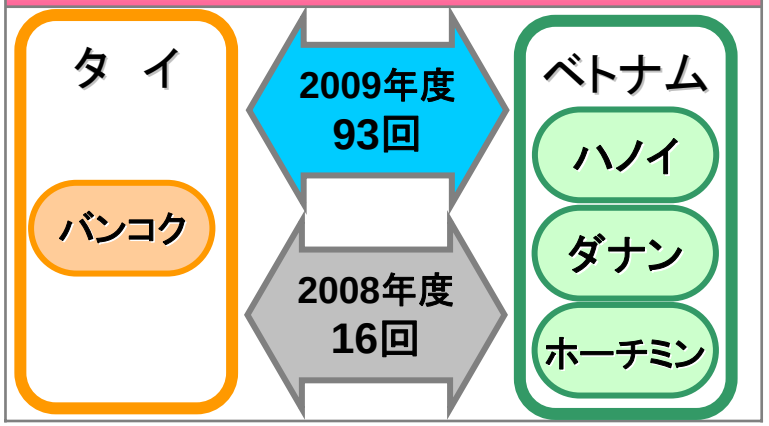
アジアンハイウェイ東西回廊



輸送手段	所要日数	輸送費用（USドル）
航空	2日	2,670
陸上	3～4日	1,350

※所要日数はドア to ドア、輸送費用は貨物量10㎥で試算

トラック輸送実績

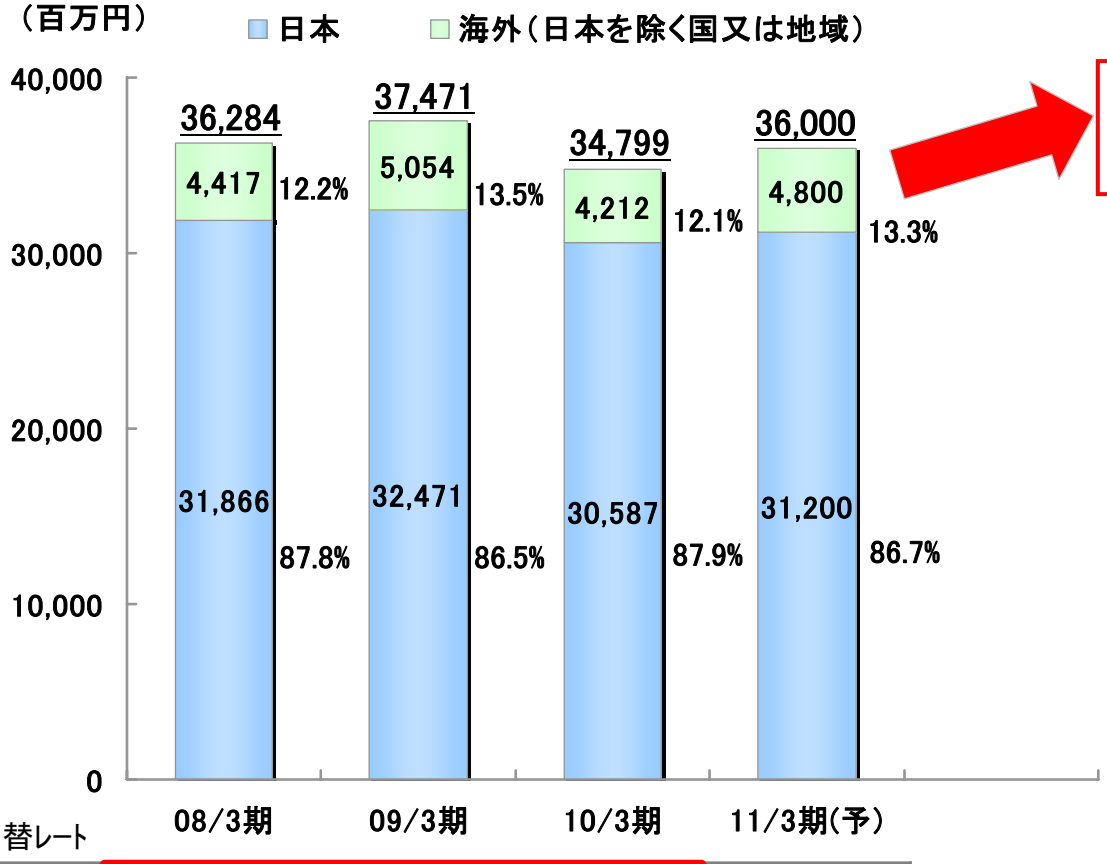


国際物流事業への積極的な投資を継続

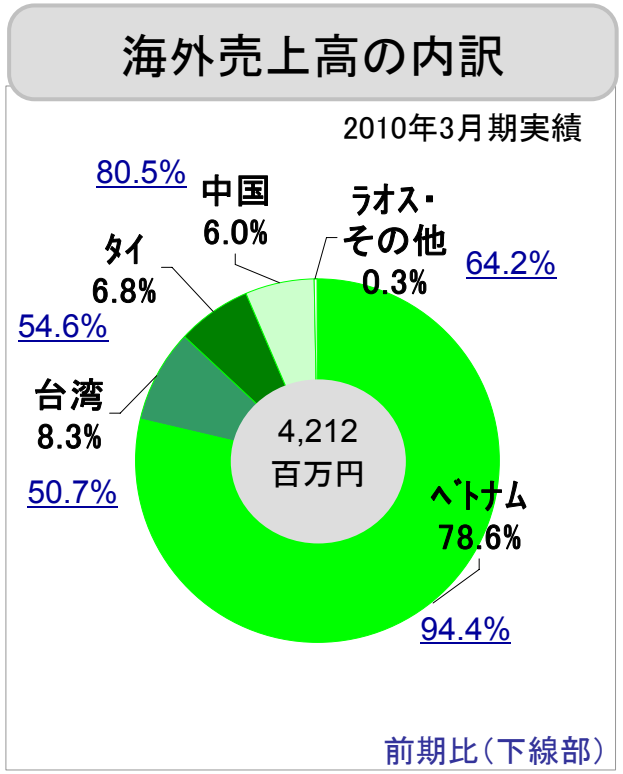
2011年3月期海外グループ設備投資計画

法人名	投資内容		投資額	備考
ロジテムベトナムホールディングス	旅客運送用車両	16台	53百万円	ロジテムベトナム№1向け
	貨物運送用車両	15台	62百万円	ロジテムベトナム№2向け
	GPS	100台	6百万円	
ロジテムベトナム	バイクキャリア改造	12台	5百万円	
ロジテムベトナム№1	旅客運送用車両	3台	10百万円	
ロジテムタイランド	ピックアップトラック等	3台	13百万円	
ロジテムラオスGLKP	貨物運送用車両	1台	4百万円	
その他			4百万円	
海外グループ設備投資合計			160百万円	

国際物流事業は次の成長ステージへ



AFTA輸入関税撤廃で
同地域内の物流活発化へ



為替レート

USドル建て	117.22円	102.78円	93.69円	90.00円
VND建て	0.00707円 （1円=142VND）	0.00525円 （1円=191VND）	0.00504円 （1円=198VND）	0.00455円 （1円=220VND）

赤枠：当社の主要適用為替レート

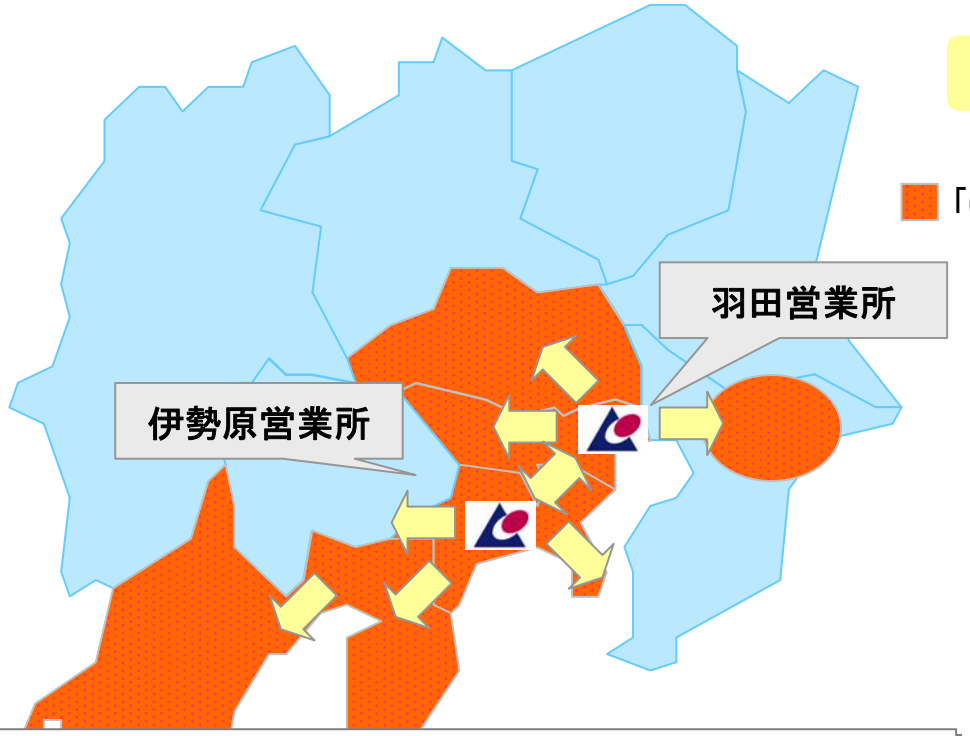
1. 海外売上高：日本ロジテム及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高
2. 各区分に属する国又は地域の内訳：ベトナム、中国、台湾、タイ、ラオス
3. その他は、主にシンガポール、韓国、マレーシア、インドに対する売上高

日本一信頼される企業グループを目指す

保管、荷役、流通加工、情報システム、3PLへと進化するロジスティクス業界

【参考資料】
オリジナル物流サービス① 「ゆっくり便」

EDISON（電子部品共同配送システム）新商品Ⅰ
納品時間に余裕を持たせることで通常運賃の20%割引を実現



2009年11月開始

「ゆっくり便」配送対象エリア

新規クライアントの開拓ツール

リードタイム	発送日より2日以内に配達
対象エリア	東京都、神奈川県、埼玉県、静岡県、成田市（千葉県）

※EDISON（Electronics Delivery Include Slip Operation Network）
当社の電子部品共同配送システムの商品名

【参考資料】
オリジナル物流サービス②「STAMPメール」

EDISON（電子部品共同配送システム）新商品Ⅱ
受領印回収サービス付きメール便

2009年2月開始

STAMPメール の特徴

- 受領印を回収、配達証明郵便と同等サービス
- 指定封筒の利用でSTAMPメールに即対応
- 「ゆっくり便」との併用によりさらに運賃を割引

リードタイム	発送日翌日に配達
対象エリア	東京都、神奈川県、埼玉県、静岡県、成田市（千葉県）

【参考資料】
オリジナル物流サービス③「午後便」

200台の車両を有効活用
発注日から翌日中の集荷配達でローコスト運賃を実現

2010年5月開始

前日オーダーで翌日中に集荷・配達

標準料金表	60km圏内
大型車（最大積載量12,000kg）	16,000円
中型車（最大積載量3,000kg）	11,000円

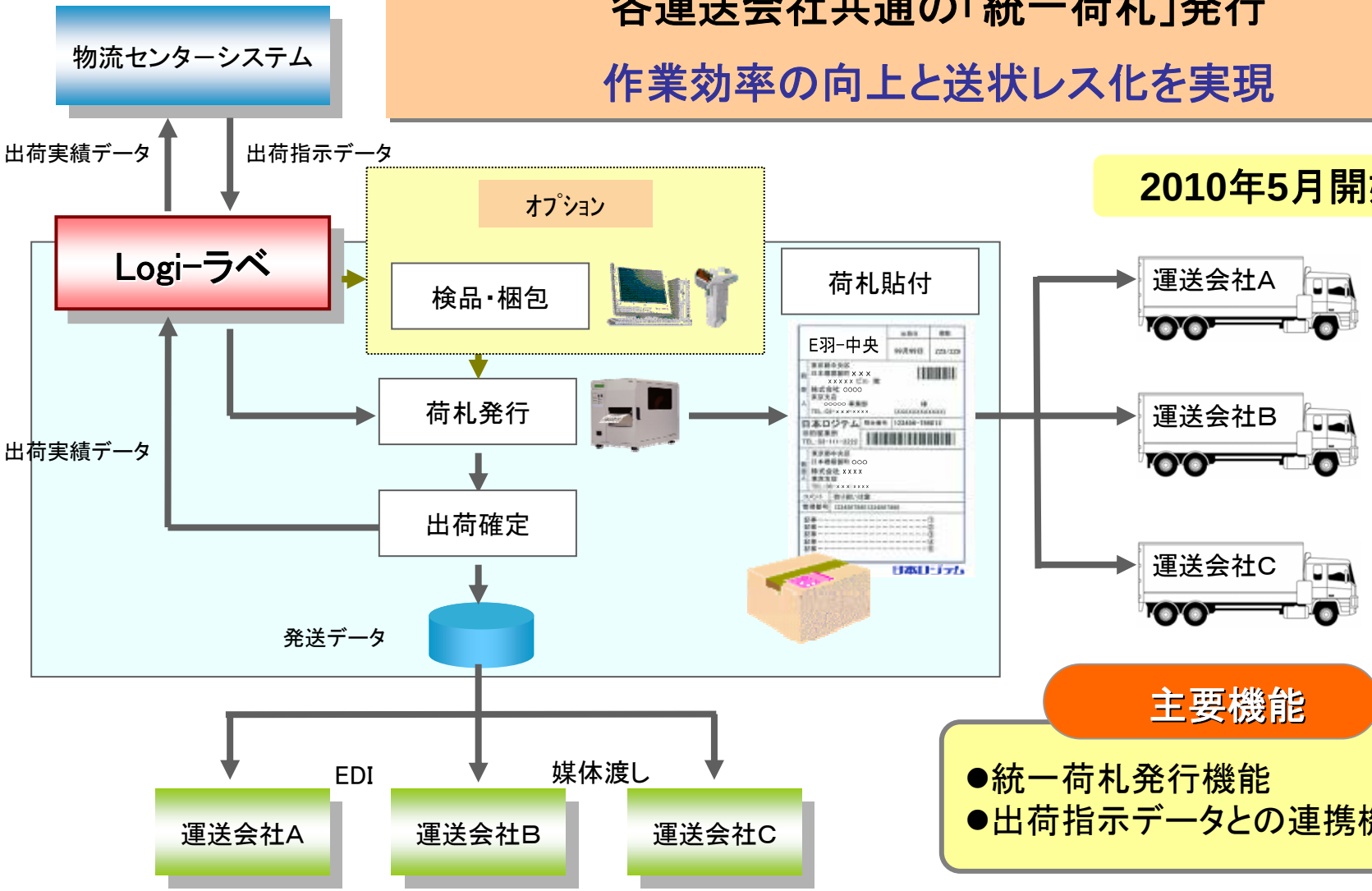
リードタイム	発注日から翌日中の集荷配達
対象エリア	東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県

【参考資料】
オリジナル物流サービス④「Logiーラベ」

各運送会社共通の「統一荷札」発行

作業効率の向上と送状レス化を実現

2010年5月開始



主要機能

- ●統一荷札発行機能
- ●出荷指示データとの連携機能

【参考資料】
改善事例：日々管理で損益改善、作業効率大幅UP!!

「全日本物流改善事例大会 2010」で発表（5年連続）

「ピッキング作業の効率化」をテーマに発表

- 循環棚卸作業の複雑化
- 商品の入出庫に時間がかかっている
- 日報の作成時間がかかる
- 現場がわかりづらい
- スキルが特定の人に隔たっている

	改善後
棚卸時間	△7時間/月
入出庫時間	△71時間/月
日報	△6時間/月
その他	△6時間/月
合計	△90時間/月

約200万円/年のコスト削減（推定）

※「全日本物流改善事例大会」:
社団法人日本ロジスティックスシステム協会主催 。
物流ノウハウを共有化し、物流業界の発展を目指して年1回実施されている。

- 本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

- 当社の内部要因や、当社を取り巻く事業環境の変化等の外部要因が直接または間接的に当社の業績に影響を与え、本資料に記載した見通しが変わる可能性があることをご承知おき願います。